

広報うえだ

平成8年 (1996年)

1 / 1

No. 1190

■上田市役所 (TEL)224100・(FAX)254100 ■市政提言電話 (TEL)252539 ■市政提言FAX (FAX)235111



▲表紙

朝日の差し込む
上信越自動車道
上田ローマン橋

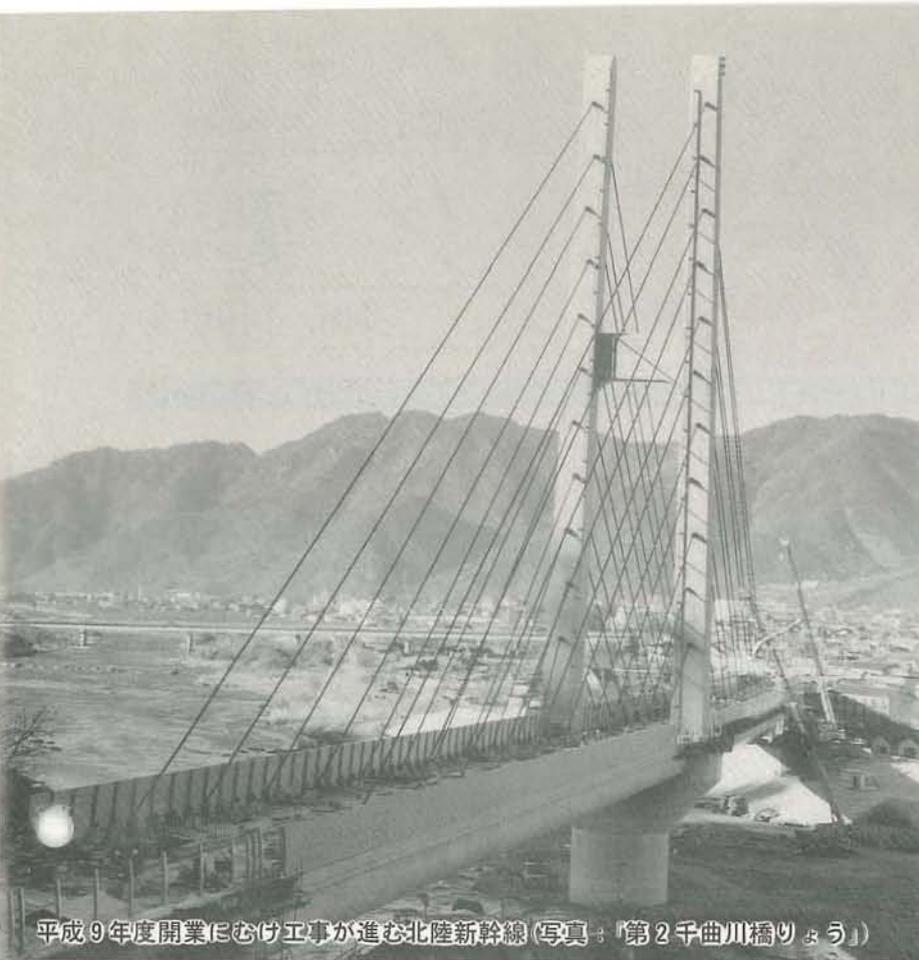
謹賀新年

主な内容● 新春特別企画・上小市町村長座談会

データ (12月1日現在)

人口/122,189人(+33) 男/59,955人(+31) 女/62,234人(+2) 世帯/42,317(+63)
外国人登録者数/1,806人(+43) 男/1,034人(+27) 女/772人(+16) ()は前月比

未来にはばたく 上小地域



平成9年度開業にむけ工事が進む北陸新幹線(写真:「第2千曲川橋りょう」)

高速道路、新幹線、マルチメディア…。

まさに時代の変革期を迎えようとしている今、「上小地域」は地方拠点都市の指定を受けるなど、個性ある地域づくりに向け、いっそうの連携が必要となってきました。

そこで新しい年、平成8年の年頭にあって、上小の8市町村長に、上小のいま、上小の未来を熱く語っていただきました。

司会は、上田市の民俗研究家・益子輝之さんをお願いしました。



この座談会は、上小8市町村(上田市・丸子町・長門町・東部町・真田町・武石村・和田村・青木村)の広報担当者が共同企画・取材したもので、座談会のもようの一部をそれぞれので、座談会のもようの一部をそれぞれの広報紙新年号で掲載しています。

益子

「あけましておめでとうございませう。昨年はずいぶんいろいろなショッキングな事件が相次ぎましたね。上小は特別にそういうこともなく、しかも新しい交通体系に向けて大きく一歩を踏み出しているという非常に明るい未来を見ている部分もあるわけです。そこで皆さんに、新年にあって、この上小に対する思い、それぞれ市町村長お持ちなわけですから、今日「上小」という立場でお話しをいただきたいと思っております。

この上小は、非常にりっぱな市町村圏計画などもあって、広域の施設などもできています。ところがかつてのような有機的

なつながりが意外と薄れている面があります。つまり昔ですとエビス講なんていうと、周りの町村のかたはおおぜい上田へ出かけて、知らず知らずのうちにお互いの交流が行われていた。こういう機会が今はなくなってきたのではないかと。こういう中で、今後のこの上小のつながりをどういうふうにもっていくべきか。またどういうふうになっていくべきかという問題が出てくるわけです。そういう意味で小県郡町村会の会長である和田村長に、まずお話ししたいと思っております。

和
田
村
長
——今もお話しがあったけれども、平成6年に、地方拠点都市の指定を受け、それからこ

承知の高速交通、あるいはマルチメディア研究センター・情報センターの誘致に成功したとか、この地域は明るいニュースが圧倒的に多いわけです。これらを、どういうふうにかからまとめていくか、そういう時代だと思っております。

益子——この上小で、首長という立場でいけば、長らく一瞥になってくるのは武石村長ではないかと思っております。

武石村長——上小地域ということですので、やはり上田城を、真田の城を中心にして、この周辺が、いっしょに均衡ある発展をでき

上田を中心 均衡ある発展を



益子 輝之さん

昭和16年東京牛込に生まれる。出生後間もなく上田市へ。国学院大学文学部卒業。昭和38年上田市役所へ入所。観光課勤務。昭和58年観光課観光係長として最後に上田市役所退職。現在は民俗研究家として上小を中心に講演会など幅広く活躍中。

地方拠点都市地域・・・

平成4年に制定された「地方拠点法」に基づいて、三大都市圏の既成市街地以外の、県庁所在地に次ぐ第二、第三の都市を中心に、「職・住・遊・学」機能の整備を図ろうとする都市地域。公共事業の重点投資、都市計画・財政手続の特例を認められるなど、メリットが多い。県内では、「飯伊地域」（飯下伊那地域）の指定に続き、「上小地域」も平成6年に指定を受けた。現在、上田地域広域行政事務組合を中心に、「自然と人とが調和し、高度情報化時代をリードする産業・文化圏の創造」を基本理念とした基本計画を策定中。

益子

丸子町長 — 丸子町はトンネル一つで松本につながっていますよね。

丸子町長

今日に至るまで、交通の要所とも言えると思います。ですから上小と言っても私どもの場合には、松本や佐久の方まで接している。今日は上小という範囲での座談会になったのですが、さらに広域的に目を向けながら、地域振興を図っていかなくてはと常々思っています。

また地図の上から上小を見た場合に、蝶が羽を広げたように、はばたいているように見える

のです。その蝶番に千曲川があっ

て、両サイドに広がっているの

で、地形としては非常にまとま

りやすい地形になっているよう

に思います。その中に自然の豊

かさから始まり、歴史的な文化

遺産まで含めて、地域の特性と

してすばらしいものがいっぱい

あると思うのです。これをどのよ

うに生かしていくのかを、考え

ていかなくはないかと思いま

す。

益子

蝶の羽ね、真ん中に確かに

蝶番、千曲川ですね。東部町は

少しあるのかな、左岸も。

東部町長 — そうですね。左岸、右

岸といいますが、東部町の場合

は軽井沢から東部町、上田の一

部まで加えまして、浅間山麓と

いう考え方ができるのです。今、

政治的、行政的には上小を中

心にしたいろいろなつながりが

あります。しかし実際の面、経済

とか住民の感覚というところ、も

益子

と違うと思うのです。佐久や小

諸を考えた時、あるいは群馬、そ

益子

は、長野、須坂とつながりがあり

真田町長

道路はその地域の文化あるいは経済の基本であると

思います。真田町の場合は、長

野市、須坂市、坂城町、嬭恋村

と隣接しており、道路を中心と

つながりがあります。

私の町は、一応上小地域の

端の方にいますが、町民の皆さ

んや職員に、国が県がという依

存主義はやめろといっています。

やはり自分の町、自分の村とい

うのは、自分たちの自助努力に

よって、逆に自分の町から全国

に、あるいは上小地域の各市町

村に発信するような、例えば農

業・文化・歴史関係にしても、

また福祉にしても、そういうま

ちづくりをやるではないかと。そ

んな希望をもって今進めている

ところです。

青木町長 — 過去には上小と中信

を結んで、中央街道と言われま

したが、残念ながら今は三才山

トンネルに移行しています。今

それを取り戻すという意味では

ありませんが、青木峠トンネル

化の問題にも重点的に取り組

んでいます。また新幹線が上田

を通り、上野まで1時間15分ぐ

らいということになると、峠の

向うの坂井村とか四賀村から

も、松本へ出るより、上田に出

てくる方がずっと早いわけでは

よね。そういう面で交通網、道

路の問題にこれから対応してい

きたい。

広域の中で考えると、丸子に

過去生糸で栄えた時代、それか

ら先ほどの上田のエビス講くあ

のころはもう道に人いっぱい



竹下 悦男 上田市市長 (60歳)

長野県商工部長、同総務部長、同公営企業管理者を経て平成6年3月初当選（現在1期目）。上田地域広域行政事務組合組合長。



ほりうち けんめい 丸子町長 (48歳)
丸子町社会教育課長を経て、平成6年12月
初当選 (現在1期目)

をもち、今日の座談会もそう
ですが、上小地域の中で30年50年
先を見通して共同で考えてい
くことは本当に大事なことでと
思います。

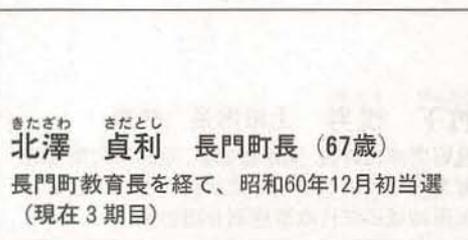
**個性を持ち寄り
全体を底上げ**

益子——確かに道というのはすごい
と思うのですよ。そういう意味
でいちばんこの上小地区で道
路的に必要なのは長門町ではな
いのですか。昔中山道、しかも北
国街道とも近いわけですよ。
長門町長——確かに長門町の歴史
を見ると、東山道から始まって、
中山道の宿場町として栄え、こ
の地方の中心的な役割を果た
したという、過去の歴史もあり
ますが、時代とともに鉄道がで
きて、大きく変わってきた。この
平成8年度には高速道路、平
成9年度には新幹線もできる
という、今まさに新しい時代の

転換がくるわけです。私は、広域
の中で行政それぞれが支え合い、
各市町村の持ち味をみな出し
合いながら、地域の中で役割
を考え、全体を底上げしてい
くような手法をとっていかなく
はならないと思います。

益子——やっぱり県の中、東信、もっ
と言えば日本の中ですよ、今や。
かつては上小は日本の中で
「蚕」といえばすごい位置占め
ていた場所ですから。そういう
わけで上小のトータルデザイン
が必要になってくるところで、
上田市長ひとつ……。

上田市長——この上小地域の過去
を振り返ると、まず東山道、太
古の時代にここに信濃国の国
分寺があった。これが画期的な
時代だった。それから鎌倉から
戦国にかけて、信州の鎌倉と言
われたり、それから真田とい
うすばらしい武将がいて、日本の
に輝いていた。それから明治に
入ってすばらしい文芸復興の
波に、お蚕産業といっしょに乗っ
て、この地域がリーダーシッ
プをとっていた。そして今、新幹線、
高速道路の到来で、四つ目の大
変革期を迎えていると思うので
す。こういう問題意識に私ども
立たなければいけないし、上田
も中心城市にふさわしい格好
に本当にならなければいけない
と、意識しております。
そして上田は「創造・活力・
ときめきのまち」を目標とする
第三次上田市総合計画を策定



きたざわ さだとし 北澤 貞利 長門町長 (67歳)
長門町教育長を経て、昭和60年12月初当選
(現在3期目)

しました。学術研究都市を目指
すということ、マルチメディア
にも取り組んでいますが、基本
的には道路とか、人間と人間が
直接接することのできる場がな
いとうまくいかない。そういう場
づくりにより一生懸命努力をして、
関係町村長さんたちにも「上
田もよくやってくれてよかった」
と、言われるぐらいにならなくて
はいけないと思っています。

**新幹線上田駅が
上小連携の源**

和田町長——今まで、上田だけの地
図を広げてものを論じていたと
いう、象徴的な話だね。
上田市長——上小というのは、神様
がつくってくれた山もいし川

もいいし、こんないいところ日
本じゅうにあまりないので、な
いのですか。お天気の具合もい
頭の体操に最高にいいからね。

和田町長——話の取っかかりに、こ
の話をしてみたらどうかと思っ
てきたけど、「総領、上田の甚
六論」という話。
上小に8市町村あるわけで、
8人兄弟とすればこれはだれが
見たって上田市が長男ですね。
だけでも、これまただれが見ても
この長男は甚六で……(笑)。
このことは実は非常に深い意
味があることで、私、昔、信州自
治という冊子に「民族大移動
の行きつく果て」という大論文
というほどのものでもないけ
れど、寄稿したことがあるの
です。それは、確か昭和30年か
40年か、日本民族が江戸へ江



ほしな よしのり 保科 倣教 東部町長 (55歳)
東部町町議会議員を経て、昭和61年12月初当選 (現在3期目)

戸へと草木もなびくように、みんな行ってしまった。そして、日本じゅう気がついた、これはたまらない、いけないと…。東京の都会も困る、我々山間地も困る。ということ、さてそれで今度は地方都市だと。こちら辺いえば上田あたりへと。そうやって今度は上田に集中し過ぎて、30年ほどたったなら、この上田集中もやっぱりまずかったというふうな。その大都会の集中は間違いだっただけでも、同じく地方都市への集中も避けるべきで、その地方都市集中を飛び越して、もう少し広域的に物を考えるべきだということを、今の時点から気がつくべきだと。そこへ兄貴の甚六の話が出てくるわけですが、まさか当時、上田市も我々もそれだけの長期戦略に基づいてやっていたわけではごせんが、幸いにして兄貴が甚六だったがために、こ

れは頼りにならないと(笑い)。そういう論文だったので。新春放談だと思って聞いてください。おかげで我が小泉郡は、必死の思いでやったわけです。だから、期せずしてあまり上田集中せずに、上小もおだやか、全体のバランスのとれたものになってきたわけです。

例えば買物するにしても、小泉にも駐車場ばんばんあるわ、でかい店あるわ、いいわけですよ、上田にこやかいいならなくても。だけど、ただ一つ我が小泉郡が絶対上田市と連携していかねばいけないというものは、新幹線上田駅です。これが我が小泉郡にはごせん。この新幹線上田駅へ我が小泉郡内からどうやって連結するか。これこそ我が上小の連携の源であり、上田の活力の基であると思うのです。はてなと思うのは、最近非常に上田市がそのことに熱意を入れておられるのですから、これはいいかなと期待をしているわけです。

益子——確かに上小の場合は一極集中はあまりないわけですね。そのために上田の地方都市としての都市機能は非常に薄くなっていますね、今、これどうなんでしょうか。

上田市長——いやこれはね、上田の中心市街地の魅力というのが、非常にこれは大事なことで、今和田村長にこっぴどく言われてしまったのですけれども…。私

自身も、国土は県土は広く使うという主義者なので、それぞれにそれぞれのいいところがあるわけですから、狭く使う必要はないのです。今までは経済だけがよくなれば、人口を集めてその成長率だけ上がればいいと望んだけれども、本当の心の豊かさを求められる都市機能でなければいけないと思うのです。ですから新幹線、もうすぐに来ますし、3〜4年で千曲川に橋が2本架かります。それから上田の駅前の再開発も一生懸命やって、駐車機能もよくしないと。そのために上田は中心市街地として、心の豊かさを求められる文化とか芸術とか手をつないでそこにいるだけで上田の街はいいよと、いうぐらいの貫禄ある街にしたい。それには上田市だけで相撲とるなんて全然思っておりません。総領の甚六はちよつと…。

わかばやし やすろう 若林 康朗 真田町長 (61歳)
真田町助役を経て平成元年5月初当選 (現在2期目)



益子——各市町村の要覧を見せていただいたのですけれども、どれを見ましても若者の写真が非常に多いですね。各市町村でいかに若者をつなぎとめるのが大変かという、印象を受けたのです。若者の場合には、そばに都市があるというのが一つの条件を満たすわけです。そういう意味で、例えばこの上小の町村の若い人たちが、その都市を東京に求める方がいいのか、その中間で上田に、日常的な都市を求める方がいいのか、いかなるものでしょうね。もう東京へ行ったら日帰りが簡単になるわけです、今度新幹線ができますと。

就労の場と都市機能
若者定着に

東部町長——私どもの町で、毎年成人式の日に、成人を迎える若者たちに「将来地域に住むか住まないか」というようなアンケート



ながい やすみ 永井 泰美 武石村長 (78歳)
村農業委員、消防団長を歴任後、
昭和30年4月初当選 (現在11期目)

ト調査をやるのですが、その結果では、成人を迎えた若者たちの70%は地域に住むと言っています。それには就労の場もそれは東部町であっても、長門でも和田でもいいし、上田にあってもいい。通勤圏なら長野でもいいわけです。自分の気になった就労の場があるかないかというところで、地域に定着するかしないかがほとんど決まっているわけです。就労の場の確保。それが我々も言っているマルチメディアとかに、つながってくるのです。それと、やっぱり若者は、今も話に出ているように都市機能なのです。自然だとか環境にも魅力を感じる人が多くなってきました。が、なかなかそれだけでは、やっぱり広い意味の教育機関、文化、商業機能など、いろいろな機能がそろってないと、そこには若者は定着しないのです。都市機能のそろった母都市が地

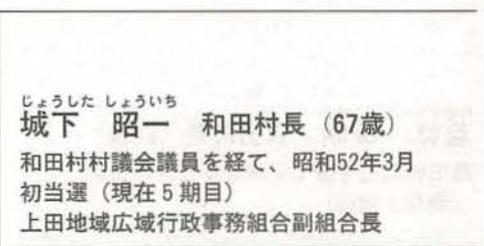
域にあって、そしてその影響で周辺町村の人口が増えるという傾向があります。ですから、我々としてばこの上小圏域というものを視野に考えた場合に、上田の都市機能というものは絶対必要なのです。これがなければ上小全体の繁栄はないと思います。

益子

この間私ちょっと原宿の竹下通り歩いてみました。が、そこには若者を引きつける魅力があるのです。ところが今、残念ながら上田にそれがなくなっている。だから私は中心街はやっぱり竹下通りにしなければいけないと。市長さんが毎日歩いていけばそれは竹下通りだと(笑い)。そういう上田の都市機能、今いちばん求められるものはないでしょうね。かつては文化的なもの、例えば美術館みたいなものをやることによって、都市機能が求められてた時代もあるのですけれども、武石村には非常に入りっぱなしの博物館があり、東部町や丸子町にもすごいホールがある。そうなるべくと、上田の都市機能というものは活性化できませんね。

上田市長

なにしろ皆さんいいもののお作りになって。だから上田はもっと大きくなって、そしておおいの人が来て、も会議だけは対応できるものを作らないと。お泊りになるところはそれぞれの町村を使わせていただいで。上田が、日本じゅうで40くらいしかない国際会議観光都市の指



じょうした しょういち 城下 昭一 和田村長 (67歳)
和田村村議会議員を経て、昭和52年3月初当選 (現在5期目)
上田地域広域行政事務組合副組合長



広報うえだ8. 1. 1 【6】

定を受けやっています。それからやっぱり、街並みというの、さっきお話しあったように、物を買ったからもういいというものではない。やっぱり手をつないで歩いていても、ここにいれば彼氏となら3時間つぶしていても、いいと言えぬ街が必要なのです。

東部町長

世界の、若者たちや旅行者が喜んでいく街というのは、みんな共通してますよ。それは、そこにいるだけで楽しく、何か心がうきうきしてくるような街。もう主要都市みんなそうです。どうしてそういう街の形成ができるかという、やっぱりビジネスがあるからですよ。それとやっぱり世界のそれらの街の中には緑が非常に豊かです。建物も経済的な裏打ちがあつて、みんなきれいですよ。すばらしい建物があつたり、緑があつたり、そうするとそこに人が寄ってくる。ですから私は基本的に、一つの人口

東部町長

直接はすぐというわけにはいかない。ただ時代の、世界の流れがこれからは情報中心にしたマルチメディアの時代になる、これはもう間違いないと思います。そして今、映像産業を上小地域にどうかということを考えてますが、それがうまくいくかいかんは、これからですよ。映像産業などは大きな資本が必要ですよ。よほど考えないと映像産業というのはなかなかうまくいかない。ただ、それに派生したいろいろな産業が生まれてくるのではないかなという感じはします。

東部町長

世界の、若者たちや旅行者が喜んでいく街というのは、みんな共通してますよ。それは、そこにいるだけで楽しく、何か心がうきうきしてくるような街。もう主要都市みんなそうです。どうしてそういう街の形成ができるかという、やっぱりビジネスがあるからですよ。それとやっぱり世界のそれらの街の中には緑が非常に豊かです。建物も経済的な裏打ちがあつて、みんなきれいですよ。すばらしい建物があつたり、緑があつたり、そうするとそこに人が寄ってくる。ですから私は基本的に、一つの人口

東部町長

直接はすぐというわけにはいかない。ただ時代の、世界の流れがこれからは情報中心にしたマルチメディアの時代になる、これはもう間違いないと思います。そして今、映像産業を上小地域にどうかということを考えてますが、それがうまくいくかいかんは、これからですよ。映像産業などは大きな資本が必要ですよ。よほど考えないと映像産業というのはなかなかうまくいかない。ただ、それに派生したいろいろな産業が生まれてくるのではないかなという感じはします。

集積があつて、ビジネスが生まれてこない限り、魅力ある中心商店街とか中心市街地というのとは出てこないと思うのです。

マルチメディア研究センターや情報センター、あの誘致というのは将来の就労人口に相当プラスが考えられるものでしょうか。



みやはら たけし 青木村長 (63歳)
青木村議会議員を経て平成5年5月
初当選 (現在1期目)

上小らしさを 生かした街並みに

上田市長——産業としてやっぱりハイカラな、ハイカラなというのは次元の高いということも含めて、そういう二次産業というのを真剣につくらなければいけない。物を売ったり買ったりで終わりというようなものでない、産業というのはこれからうんと大事なのです。なんといっても人が住みたくなる器というか、街というか、居住環境というか、そういうものを、急がばまわれで、丁寧につくる、美しくつくる、そういうものがなければ、マルチメディアも花が咲きませんよ。新しい建物きり並べて人に集まれば、言っても、そんなもの魅力ないです。やっぱり日本的なものも、上小らしいものがあるって、みんながここを訪ねたくなるわけで、東京のビルと同じようなものを

ここへ並べたって、それは私は上田の魅力には、上小の魅力にはならないと思います。

益子——東部町は、すごい海野宿をお持ちだし、和田村の和田宿、本陣もすごい、長門町の長久保宿もすごい。ただ残念なのは全部あれは江戸時代からの伝統街並みなのです。けっきょく昭和という時代は後世に残る街並みをつくり出せなかった時代です。だから逆に言うと、今平成の時代に、後世にこれが平成の家並みだといって保存されるようなものを考えなければならぬ時代へ来ているのではないのでしょうか。

和田村長——それはそうですよ。ただ昔の物をありがたがって保存するだけではなくて、我々自身もつくり出さなければならぬ、それは確かです。

長門町長——さっきの話にちょっと戻るけれども、東部町長がおっしゃるように、若者を定着させるためには、当然これはもう働く場所が、これはもう第一条件ですが、やっぱり若者が魅力をもって住めるような都市環境、そういうものをつくっていかないと、だめだなと。我々の町村ではとてもそんなことできないので、これの役割はやっぱり、上田にどうしても元氣出してもらいたいと思います。

また、街並み保存ということになると、今お話しに出ているような、まさに我々の歴史とし

昔ながらの宿場街の面影を残し続ける「旧北国街道・海野宿」。手作り郷土賞を受賞したほか、日本の道百選、重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている。(写真：毎年11月23日に開催される「海野宿ふれあい祭り」。写真提供：東部町)



て今後残せるようなものを、これからはつくっていかなければ。それは時間がかかっても、みんなが努力していかなければならぬことではないかなと、つくづく感じますね。

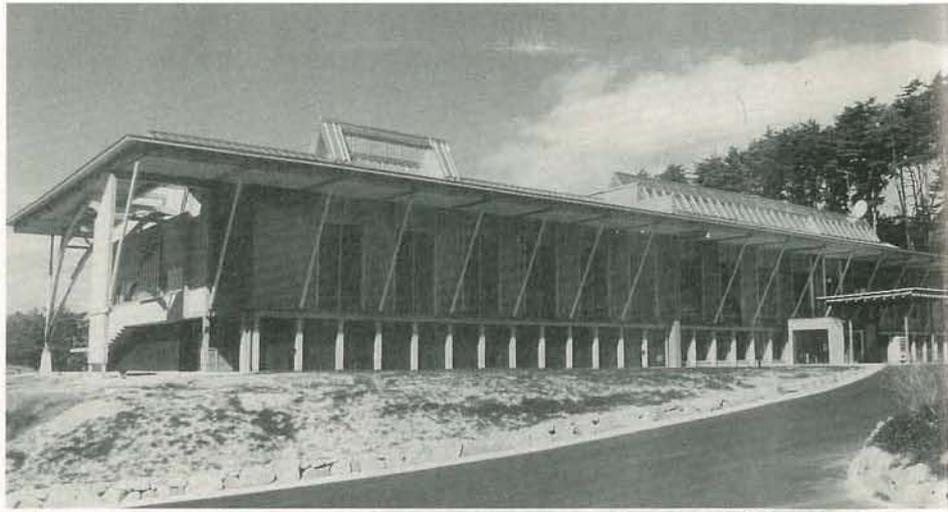
和田村長——信州の中でもこの上小地域というのは、地震とかのマイナス要因が少ない。ものすごい特長だと思います。

益子——恵まれているので、結局甚六になったのですね。

武石村長——それから上田市も歴史的なものを中心にして、彫刻の街並み：そういうものをつくってとは、私は思っております。しかし現代の状態において街並みをつくっていくと、日本の早とちりで、東京とか、京都とか、

そういう形の街並みになってしま。それでは中心都市としての価値がない。だから歴史を生かすには真田の歴史があるので、すから、そういうものを生かし、その表現方法として、どこの家にも彫刻一つ据え付けるとか、街並みそのものが過去を回顧できるようなものを作ってはどうか。そして現代風に、それをどう残すかということを考えていくべきだと思っています。

真田町長——上田市ははじめ8市町村、ある日突然そういう市、町、村が生まれたわけではなくて、長い歴史と伝統、気象風土の中で、今日まできているわけなのです。ですから21世紀に向けて、本当にこの地域の中で、い



昨年8月にオープンした、
メディアランドUEDA
(マルチメディア情報センター)

わゆる日本の中でも長野県らしい、また長野県の中でも上小らしい、すばらしい歴史と文化、あるいはいろいろの気象風土に培ってきたもの、そういうものを上小地域持ち寄って、いかにその母都市を底上げするか。私の町の菅平も、厳しい気象条件の中でありますが、それだけの産業を興しています。

丸子町長 — 都市機能を高めると

いうお話ですが、これはやっぱり中核都市としての上田に期待するところが大きいのですが。私もたまに東京へ出たときは方々へ寄ってくるのですが、その都市機能でもやっぱり常に新しいものへと進んでまして、例えば恵比寿ガーデンプレイスとか、築地の聖路加ガーデンとかへ行きますと、ああいう都心に、ない自然を創出してまで緑をつくり出し、いろいろな機能が集中した形での、いわゆる若者にときめきを感じさせるような、場所になっているわけです。それから当然そこにはサービスを提供するビジネスがあります。それになんといっても若者にはエンターテイメント、楽しみの要素がなければいけないわけですから、そういう自然とエンターテイメントと、それからビジネスがいっしょになったエリアが上田地域に必要なと思うのですよ。その点、私どもの住んでいる田舎には、自然はそのままあるわけですし、それから都会にな

い歴史ももっています。だからそこに楽しみとビジネスが融合したような場所をつくり出せれば、都会にないもっと魅力的なものになりはしないかと思うのですよ。

青木村長 — 上田は中核都市とし

ての期待が大きく、これだけ真田の歴史のある町ですので、上田には城下町としての機能も十分残してもらいたい。

これはちょっと難しい、かもしませんが、例えば馬場町、今の中央何丁目を馬場町何丁目にするとか、その辺の施策で、やはり城下町としてアピールするものを残していった方が私はいいと思うのです。これは私のノスタルジアの問題に入りますが、

「あんど」が大切 街の活性には

上田市長 — 今幾人かから熱き思

いを提言されまして、感謝しています。さっき町名の話ですが、上田市では昨年5月に商工観光部に街区振興課という部署をつくりました。漫然と商工をやるといってではなくて、あの街をこういう姿にしよう。あの街を通るときにはお洒落して通らなければ、ちょっとカッコつかない。うまいものを食べるときにはあのゾーン、こういうふうにするということが非常に大事だと。上田の街は道路も割合まっすぐで、道路に沿ってお店がありますが、それだけではだめなので

す。ヨーロッパとかを見ると、その奥へ入ったところに本当においしい、街の「あんど」がある。そのあんどが公園であったり、しゃがんでいれればいいところであったり、みんなで食べながらワイワイやっていると、音楽を奏でるところでもいいし、そういうことを含めてビジョンをつくり、そこへできるだけ近付けるようなことをしよう。町名だつて馬場町も出ましたし、蚕影町なんて、いかにも由緒ある名前ですよ。こういうものがやっぱりお洒落の上田の原点になるように、していきたいと思います。

すばらしい町村長さんたちがおおせい、これだけ熱き思いをおっしゃることを思えば、これはもう上小のスペースなのです。これを意識しなければ。上田が上小、もっと言えば東京の奥座敷として、どんな形をして、どんな景観をもつて、どんなオープンスペース…芸術なども含めたスペースかということ。

真田町長 — 私もさっき話が途中

になってしまつて…。定着人口と交流人口のことを言いたかったのですが、交流人口が増えることによって、需要と供給のバランスで、若者が寄るような場所が自然にできるのですよ。

私どもの真田町も菅平だけで全国から140万人来ます。そのうちの7割くらいは若い人たちです。今のスキーとかスポーツ活動だけでなく、そこにいろ

いろの文化を取り入れたり、もっと学術的な保健医療も含めて全国から皆さんが来るような場所、世界的な高原とスポーツ医療の研究所、そういう夢を見ているわけなのです。

そこで私が結論出したのは、今の模倣の時代でなくて、上小地域が、歴史的にも文化的にもここでなければならない。というものを待ち寄っての底上げが大事だと思つたのです。だから私は、都会のまちづくりを参考にすることはいいのですが、それを模倣することは、それは早くに崩壊してしまう、一過性のものだと思うのです。そういう点でその交流人口の増やし方、そういうものを基本的に置かなければいけないと思つています。

長門町長 — 私はいろいろなお話

を聞いていて、こういうすばらしい会は、何時間やってもいいなと思つているのだけれども、上田市長をキャップに、上小地域のみんなが一つの方向で、そういう将来をみんなで歩調を合わせてつくっていくには、上小らしい地域づくりというものが、20年かかるか50年かかるか100年かかるかわかんけれども、すうっと突き詰めていくような風土をつくっていくたいものだなと思つて、つくづく感じているのです。やっぱりその土地その土地にはそれぞれ異なるものがある。それは人真似ではだめで、この地域に最も合った地域らしさとい

■各市町村の人口と世帯数（平成7年12月1日現在）

	人口	世帯数
上田市	122,189	42,317
丸子町	25,577	8,350
長門町	5,405	1,757
東部町	25,238	7,957
真田町	11,682	3,375
武石村	4,359	1,259
和田村	2,609	814
青木村	5,029	1,480

うものを大事にしていくべきだろうと。それともう一つは、これからはもっと落ちついたシックなものでとらえていかないと、一時的なことになってしまわないか、と考えると考えています。ヨーロッパでは経済的に余裕が出ると、田舎へ行って、家をつくって生活をする、それが夢だと言います。日本でも、恐らく将来はそういう方向へ動くだろうと。そういうような時代を迎えるにあたって、この地域をどうつくっていくか。それが上小らしさというものをしっかりと地道につくり、今からつくり上げていっても遅くはないなど。

考えていく必要も

東部町長——それぞれの首長がそれぞれの特色を出していくことによつて、この地域全体がレベルアップしていくかという問題もあります。最近特に私感するのは、やっぱり日本の教育の問題が一つあるように思うのです。日本の教育が戦後50年、平等主義できました。ある程度の教養をもった若者を育てていけば欧米先進国を模倣する時代はそれでよかったです。ただ、それも最近になって特に言われてきている、新しい産業を興さなければいけないというような変革の時代を迎えたときに、本当にその教育でいいのかということが問われています。日本の教育

のものが非常に型にはまった、平均的な人間をつくるような、平等主義的な形の教育をやってきましたから、そこに問題がある。ですから地域の振興を語るどうか、地域を振興させるといふ意味で、日本の根本的な制度そのものをかえていく必要もあると思うのです。

益子——上小地域がどうあるべきか、どういう方向に持っていくべきかということ、皆さんのお話を伺いしてきませんが、最後、総領の上田市長からまとめをお願いいたします。

上田市長——皆さんから大変手厳しいお話をちょうだいしました。愛のむちとも、良薬口に苦しと受け止めて、一生懸命やらなければと思っています。不肖私は広域の組合長も務めていますし、拠点都市にもなっている。やはり行政として私どもが総論で言えることは、やるべきことは10年後、20年後を見据えて、いかに毎日の一歩一歩を歩いていくということ、これがいちばん大事だと思っております。

それと東部町長がおっしゃった、学校教育の問題と、社会教育。これから物的豊かさだけでなく、本当の豊かさが必要で、それを求めるには、やっぱり人間なのです。その人間の教育というのを踏みはずしては、やっぱり自治などというものは、それから各町村非常に魅力的になってきているのですが、ど

うしても必要なのは上小地域の魅力。日本の中で上小って何ぞやと：わからない、上田ってわからない、これではだめですから。やっぱり広域としてのできればスタンダード、上小らしさ、そういう個性が大切です。今日は非常に有意義でした。これからも、それぞれの市町村

の役割分担を考え、地域の個性を生かした「上小地域」を作っていきたくですね。ありがとうございます。益子——さらにこれから、もっと突っ込んだ話し合いが続いていくことを期待しまして、今日は終わらせたいと思います。どうもありがとうございます。



(平成7年11月10日上田市役所で収録)

創造・活力・ときめき のまち 上田

〈学術研究都市をめざして〉



魅力と風格のあるまちづくりをめざして、4月から第三次上田市総合計画を推進。

高速交通網時代に向け 都市基盤の整備を急ぐ

新年おめでとございます。上信越自動車道は、更埴ジャンクションまでの開通に向けて、市内の工事が順調に進んでいます。北陸新幹線は、斜張橋に引き続き、高架部分と上田駅舎の工事も進められており、開通は平成9年の予定です。

今年の4月より実行に移される「第三次上田市総合計画」にあって、高速交通網と市内道路網の整備は、施策展開の根幹をなすものです。

交通の重要な拠点としての歴史を持つ上田駅周辺は、新幹線の開通をきっかけとして大きく生まれ変わります。新幹線の駅舎は蔵をイメージし、上田市の歴史と風格を感じさせる建物となす予定です。

なります。橋上駅には市民コーナー、南北自由通路にエレベーターやエスカレーターを設置します。駅北口は、駐車場の整備により、利便性の向上と再開発ビルによるにぎわいのある駅前広場を目指し、南口駅前広場の整備にも着手します。

千曲川に架橋される2つの橋も、いよいよ具体化の運びとなりました。幹線道路を中心とした整備を今後進め、(仮称)上田インターチェンジへのスムーズなアクセスと、渋滞解消に大きな役割を担います。

生活環境では、公共下水道と農業集落排水事業の二つの柱により、着実な下水道普及率のアップを目指しています。また、ごみ減量・再資源化推進計画の目標は、わたしたち一人ひとりの努力によって達成しなければなりません。

高度情報化社会に対応 時代に即した産業育成

商工業は、今日の上田市の発展に大きな役割を果たしてきました。かつては蚕糸業、現在では電気機械機器や輸送用機器が

その主役であり、商業は長野県の東部地域だけではなく、群馬県の一部までを商圏として発達してきました。

活性化ビジョンを策定し、商店街の皆さんと一体となって、上田の街にかつてのにぎわいを取り戻す努力を続けます。

また、これからの時代は「高度情報化社会」、「マルチメディア社会」です。従来の産業に加え、これからの時代に対応した新しい産業の育成が、上田市に活力をもたらすと考えます。リサーチパーク内の「メディアラウンドUEDA」(上田市マルチメディア情報センター)と、丸子町のマルチメディア研究センターの立地という環境を生かして、教育・文化にも活用したいと考えています。

「高齢化社会」に向けて 施設整備や制度を充実

日本の高齢化は、諸外国に例のない早さで進んでおり、その解決のための施策はすでに重要な課題となっています。

保健・医療・福祉の充実が急務であり、これからもデイサー

～昨年を振り返って～

平成7年

市政ダイジェスト

1月

●12日/上田中央消防署東北分署竣工式(小井田)●20日/上田南部消防署川西分署竣工式(浦野)

2月

●6日/県営上田野球場起工式(下之条・上田原・築地地籍)●9日/中国・寧波市と友好交流都市提携調印(寧波市)●28日/3月定例市議会招集日(～3月17日)

3月

●18日/北陸新幹線丸子トンネル貫通式

4月

●17日/上田地域公共図書館情報ネットワーク調印式(1市3町・市立図書館)●23日/上田市議会議員一般選挙●26日/北陸新幹線五里ヶ峯トンネル貫通式(上田・坂城工区7・1km)

5月

●14日/長野冬季オリンピック1000日前イベント「上小ごりんフェスティバル」(市民会館)●16日/臨時市議会(議長に上原憲さん、副議長に今井正昭さん、監査委員に矢島昭八さんが選任)●26日/上田市功労者表彰式(15人)●29日/長野県工科短期大学校開校式

6月

●2日/千曲川市民緑地マレットゴルフ場オープン●5日/6月定例市議会招集日(～21日)●10日/アーチランドフェスティバル95(上信越自動車道アーチ橋周辺・アーチ橋が連結、愛称が『上田ローマン橋』に決定)

7月

●16日/上田古戦場公園オープン(下之条・上田原・築地地籍)●29日/第24回上田わっしょい(市内目抜き通り)

8月

●5日/上田市マルチメディア情報センター開所式・オープニングイベント(同センターの愛称が『メディアランドUEDA』に決定)●12日/戦後50周年平和記念式典(東山地籍)●28日/鎌倉市と「災害時における相互応援に関する協定」締結

9月

●1日/上田市地震総合防災訓練(上堀河川敷グラウンド周辺・塩田中学校グラウンド周辺)●4日/9月定例市議会招集日(～29日・「第三次上田市総合計画」の『基本構想』と『国土利用計画(上田市計画)』が議決)●18日/上田市廃棄物処理審議会が「燃やせるごみの有料指定袋導入の具体的な方法」について市長に答申●27日/都市緑化月間記念講演(文化会館)

10月

●1日/平成7年国勢調査●22日/岡地区農業集落排水事業竣工式●26日/保野・舞田地区農業集落排水事業起工式●31日/景観シンポジウム(文化会館)

11月

●6日/臨時市議会●7日/北陸新幹線レール発進式(五里ヶ峯トンネル坑口付近)●16日/上信越自動車道山口トンネル貫通式・一般公開●29日/上田市功績者表彰式(36人)

12月

●1日/特定環境保全公共下水道別所温泉処理区通水式(同終末処理場)、上田市広域公共図書館情報ネットワーク稼働式(市立図書館)●5日/12月定例市議会招集日(～21日)●26日/北陸新幹線第2千曲川橋梁愛称命名式(現地・斜張橋の愛称が『上田ハープ橋』に決定)



今、大きな飛躍のときを迎えている上田市。

塩田西小が4月に開校
各小中学校の整備にも
未来を支える子どもたちのた

「トータルデザイン」に
向けて総合計画を推進
上田市は、豊かな自然に恵ま

ビスセンターなどのハード部門の整備や、制度の充実に取り組めます。しかし高齢化が進む一方、核家族化の傾向は今後も進むと思われまます。これからは、地域でもこの高齢化社会を一緒に支えていく必要が出てくるでしょう。

めに、教育環境の整備にも力を入れていきます。山田地区に建設中の塩田西小学校は、今年4月に開校します。第一中学校の移転新築、市内各小中学校の校舍改築やパソコン設置など、積極的な取り組みにより、教育力の高いまちを目指します。

れています。自然との共生を大切にし、総合的かつ計画的な土地の利用と、魅力ある景観の形成など、トータルデザインによる発展を目指します。上田市は今、大きな飛躍のとき。新たな視点から施策を展開し、上田市の独自性を生かした魅力と風格のあるまちづくりのため、第三次総合計画を市民の皆さんといっしょになって推進します。市民の皆さんの積極的な参加をお願いします。



新年も楽しもう！ 創造館のイベント

- ● ●
- **熟年入門パソコン教室**
▽とき 1月17日(水)午前9時～午後4時
▽ところ パソコン室
▽内容 パソコンの基本操作とキーボードの操作
▽対象 上田・小県地域在住の60歳以上の人
▽定員 20人(定員になり次第締め切り)
▽受講料 1000円
▽申し込み 1月10日(水)から電話で創造館へ
- **おたや祭りの山車の展示**
▽とき 1月18日(木)～同28日(日)
(午前9時～午後5時)
▽ところ エントランスホール
- **パソコン教室(基礎編)**
▽とき 1月20日(土)午前9時～午後4時
▽ところ パソコン室
▽内容 パソコンの基礎、キーボードの操作、入力など
▽対象 上田・小県地域に在住・勤務する18歳以上の人
▽定員 20人(定員になり次第締め切り)
▽申し込み 1月15日(月)から同21日(日)まで電話で創造館へ
- **親子パソコン教室**
▽とき 1月21日(日)午前9時30分～午後3時30分
▽ところ パソコン室
▽内容 「カレンダーをつくろう！」
▽対象 上田・小県地域在住の小学生の親子
▽定員 20人(定員になり次第締め切り)
▽受講料 500円
▽申し込み 1月14日(日)から電話で創造館へ
- **パソコン教室(ワープロ編)**
▽とき 1月27日(土)・28日(日)
午前9時～午後4時
▽ところ パソコン室
▽内容 パソコンの基礎、ワープロソフトによる日本語入力の基本操作、文書作成など
▽対象 上田・小県地域に在住・勤務する18歳以上の人
▽定員 20人(定員になり次第締め切り)
▽申し込み 1月15日(月)から同21日(日)まで電話で創造館へ
- 20人(定員になり次第締め切り)
▽受講料 3000円
▽申し込み 1月13日(土)から電話で創造館へ
- **星空観望会**
▽とき 1月20日(土)午後7時30分～9時
▽ところ 天体観測室
▽参加料 無料
▽その他 ①受け付けは午後7時20分まで。②雨天・曇天時はプラネタリウムで星座についての説明
③小・中学生は保護者同伴

市職員を募集します

市では、来年度採用予定の職員を次により募集します。

- **職種** 消防職、技能労務職及び保健婦(士)
- **募集人員** 各職種とも若干名
- **必要書類** ①受験等申込書(総務課にあります) ②履歴書(高校在学者は全国高等学校統一用紙を使用し、その他の人については総務課にあるものを使用してください) ③最終学校成績証明書(高校在
- 市では、来年度採用予定の職員を次により募集します。
- 学者は調査書を提出してください) ④健康診断書(公立医療機関で受診したもの) ⑤保健婦(士)の免許証の写し又は保健婦(士)課程の修了(卒業)見込証明書⑥80円切手添付の白二重封筒(合否連絡用。あて名を記入)
- **申し込み** 1月4日(木)から同26日(金)までに市役所本庁舎3階総務課へ申し込んでください。
- **問い合わせ** 総務課 (内)2022-1204

平成7年度上田市職員募集要項

職種	応募資格	試験日等	科目
消防職 (高卒程度)	昭和45年4月2日以降に生まれた人	平成8年2月8日(休)午前8時受付開始同8時30分試験開始	教養試験 面接 文書検査 体力検査
技能労務職 (業務員・技術員・庁務員・給食員・寮母等) (高卒程度)	昭和45年4月2日以降に生まれた人		
保健婦(士) (大卒程度)	次のいずれにも該当するもの ①昭和39年4月2日以降に生まれた人 ②保健婦(士)の免許を有する人 (平成8年の春までに行われる国家試験により、当該免許を取得する見込みの人を含む)	平成8年2月8日(休)午前9時30分受付開始同10時選考開始	面接 文書検査 体力検査

(主催者の都合により変更する場合があります)



上田市消防団音楽隊定期演奏会 (12月10日・文化会館)

上田市民会館

二の丸1-2 ☎0762

月日	催し	開演時間	入場者	問い合わせ
1/15 (月)	平成8年成人式	13:30	無料	市役所 青少年課
21 (日)	上田市消防出初め式典	14:00	無料	消防本部 ☎0119

上田市文化会館

材木町1-2-3 ☎0760

月日	催し	開演時間	入場者	問い合わせ
1/27 (土)	上田市中学校合唱交歓会	13:30	無料	市中学校 合唱連盟 ☎5013

上田創造館

上田原1640 ☎1111

月日	催し	開演時間	入場者	問い合わせ
6 (土)	輸入品展示販売 (7日まで)	9:00	無料	日東貿易㈱ ☎0289
26 (金)	着物展示会 (28日まで)	9:00	無料	株千松 ☎7460

丸子町文化会館

上丸子1488 ☎0001

月日	催し	開演時間	入場者	問い合わせ
1/28 (日)	"なつかしの歌、ふるさとの歌" コンサート	14:00	有料	丸子町 文化会館

信州国際音楽村

生田2937 ☎3436

月日	催し	開演時間	入場者	問い合わせ
1/14 (日)	新春寄席 (桂文治・春風亭鯉昇・春風亭柳八・桂東治)	14:00	有料	信州国際 音楽村

「上田市観光ビジョン」の中間提言が行われました

市では平成7年6月から10人の委員により、今後の高速交通化および国際化時代に対応した「上田市観光ビジョン」の策定を行っており、平成7年度末までに報告書の取りまとめを進めています。平成7年12月4日、市長へ平成8年度予算に関して、次の中間提言が行われました。

- ・国際会議観光都市としての事業を行う推進組織の設置
- ・上信越自動車道の開通と北陸新幹線の開業に合わせた観光案内標識の設置や誘客活動等への取り組み

▽問い合わせ 観光課 (☎1422)

見る・聴く・遊ぶ！
メディアランドへ

- インターネット体験会
 - ▽とき 1月13日(土)午後2時
 - ▽ところ マルチメディアホール
- パーチャルサントのあしあと《インターネットホームページ作成会議》
 - ▽とき 1月13日(土)午後3時
 - ▽ところ セミナールーム
- 内容 St Media Xmas パーチャルサントの贈り物'95で行われたイベントの様子を「メディアランドUEDA」ホームページに載せましよう (アイデア募集中)
- マルチメディア・フォトスクール
 - ▽とき 1月14日(日)午後1時30分
 - ▽ところ セミナールーム
- インターネット体験会
 - ▽とき 1月15日(月)午後2時
 - ▽ところ 1月20日(土)午後2時、1月28日(木)午後2時
 - ▽ところ マルチメディアホール
- マルチメディア忍者修行コース・通信の巻
 - 《上田まんなかネット体験会》
 - ▽とき 1月21日(日)午後2時
 - ▽ところ セミナールーム
- 上田まんなかネット《オフラインミーティング》
 - ▽とき 1月21日(日)午後3時
 - ▽ところ ラウンジ
- 第4回パーチャリティ・トーク
 - ▽とき 1月27日(土)午後1時30分
 - ▽ところ マルチメディア
- ナメント
 - ▽とき 1月27日(土)午後1時30分
 - ▽ところ マルチメディア
- マルチメディア忍者修行コース・入門の巻
 - 《マッキントッシュ入門編》
 - ▽とき 1月28日(日)午後1時30分
 - ▽ところ セミナールーム



新春もメディアランドへ

信濃国分寺

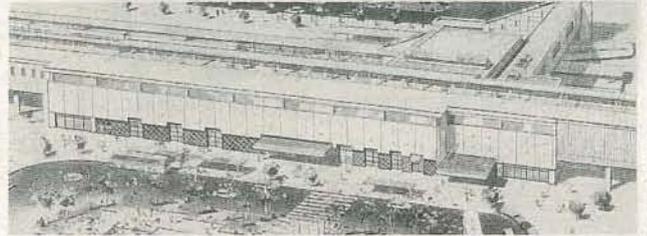
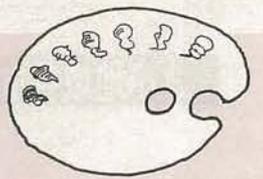
八日堂縁日で
1月7日・8日交通規制

規制時間 1月7日(日)午後1時~同8日(月)午後4時

●問い合わせ 上田市観光協会 (観光課内・☎1422)



カメラスケッチ



12月11日、上田商工会議所の堀会頭が市役所を訪れ、竹下市長に平成9年度開業予定の北陸新幹線上田駅（仮称）を、上小地域の中核都市としてふさわしい駅舎とするためのグレードアップ等、駅周辺整備費用の募金活動について報告しました。

これは当初、日本鉄道建設公団が提示した、駅舎外装のモルタル吹き付け案に対し、地元負担で壁面を「蔵風」にするというもので、この費用を、商工会議所が中心となり募金活動が行われてきました。そしてこのほど、目標額を上回る1億5千万円の募金が確定となり、グレードアップも確定的になりました。

風格ある駅舎建設に



教訓 地下に貯水箒

阪神・淡路大震災から1年。市ではこの震災を教訓に、消防・生活用水を目的とした100立方メートル級の地下式耐震性貯水箒の建設を計画的に進める構想で、このほど上田中央消防署前に、最初の一基が完成しました。



防災ポスターコンクール の応募作品

地震などの災害からわたしたちの暮らしを守るには、災害に
対して正しい知識を持ち、日ご

ろから十分な備えを心がけることが大切です。国土庁等の主催で「防災」をテーマとした皆さんのアイデアを募集します。

▽対象 小学生（児童の部）、中・高校生（学生の部）、一般（アマチュアの部、プロの部）

▽応募作品 地震、火山噴火、台風、豪雨、豪雪などの自然災害について「防災」をテーマとしたもので、用紙はA3判以上A2判以下の画用紙またはケント紙を使用

▽締め切り 1月26日（金）（当日消印有効）

▽作

品の送り先 〒117-1 東京都豊島区池袋3-13-16 24-Hビル2階 『第11回防災ポスターコンクール事務局』（☎03-5992-8291）へ

▽その他 詳しくは市の公民館に揭示してあるポスターなどをご覧ください。

▽問い合わせ 総務課（☎1206）



防災を心がけましょう

不用品情報交換

不用品になったもの、ほしいものがありましたら、生活環境課（内線1399）へご連絡を。

不用品の登録については、すべて無料のもののみです。ご了承ください。なお、すでに登録されているものについては、登録の日より6か月間はそのまま登録します。

ゆずります

- ▽歩行者
- ▽ベビーベッド
- ▽電気こたつ
- ▽スボンプレッサー
- ▽ふろ一式（都市ガス）
- ▽湯沸かし器（都市ガス）

ごめい福を
お祈りします

(11月届け出分・敬称略)

小宮山紀雄 諏訪形 54
甲田大太郎 中組 78
小泉けさい 小泉 86
芳池せん 院内 94
矢島竹治 大屋 83
大澤益江 小泉 98
大野数馬 新屋 88
中畑萬助 五加 88
宮澤勝平 西前山 88
高橋久雄 仁古田 86
田中はるこ 新田 83
西條基治郎 下之郷 91
小島春子 神科新屋 85
河原五郎治 下常田 85

小池初子 愛宕町 72
瀧澤勝枝 金剛寺 80
佐藤春次郎 川辺町 93
名取 昂 下紺屋町 90
松崎敏雄 伊勢山 37
吉池あやを 長島 84
中村貳勇 舞田 74
竹内勝寛 新田 59
榎澤花子 緑が丘 59
宮坂民子 笹井 88
長岡 敬 新田 69
竹内直治 蛇沢 95
飯島清志 城北 73
箱田きのえ 手塚 78
松井くら 柴屋 91
山岸保男 蛇沢 64
勝見正枝 材木町 61
池田はるよ 下室賀 96
田中正志 下之条 53
土屋製炭次 上室賀 70
大塚たつの 鍛冶町 79

丸山武子 北天神町 69
三嶋百合 川辺町 71
永井くによ 鈴子 86
唐澤義伯 長島 67
多田照子 金井 91
平澤芳枝 仁古田 84
大津賀傳吾 三好町 80
竹内 要 東前山 79
飯島みくに 上川原柳町 88
村山義博 新屋 73
黒岩聰一 北常田 76
中野静江 下之郷 83
荒井平俊 諏訪形 66
甲田 智 五加 93
松澤静子 下之郷 86
齋藤とめよ 上小島 91
小林昭兵 保野 64
古平 勉 北大手 60
桑野正男 上田原 77
藤澤富美子 築地 51
關口いち 下之郷 92

若林茂人 福田 81
竹内忠雄 松尾町 87
藤澤しづい 大久保 80
宮下はまの 海野町 84
澁谷よ志子 上沢 76
渡部ちか 国分 68
宮尾和夫 緑が丘 62
荒井しげの 黒坪 84
宮島直一郎 染屋 83
都築正明 下之郷 69
皆瀬豊富 石神 96
丸山金女 五加 76
田中榮一 馬場町 68
坂田重人 柳沢 86
酒巻文太郎 十人 76
平田正輝 御所 79
竹内睦男 国分 81
土屋文夫 下室賀 79
笠原桂太郎 福田 92
中村初与 緑が丘 83
大井イク子 大湯 69



「110番の日」を
1月10日に開設!

1月10日は「110番の日」です。警察署では皆さんにより

く知ってもらうため、この日に合わせて「110番の日」を設けます。電話110番は、困っている人を守る強い味方です。交通事故や泥棒などに遭ったら、ためらわず、あわてず、落ち着いて「110番」をしてください。110番をかけますと、県庁内の警察本部通信指令室につながります。通信指令室では、無線や電話で近くの警察やパトカーに連絡します。連絡を受けた警察官がそれぞれ必要な活動にあたります。急ぎでない場合や困ったこと、

相談したいことがありましたら、上田警察署(☎290110)へ直接電話してください。

入札(見積)参加願
2月から受付開始

平成8年度、市が購入する物品の入札・見積りに、参加を希望されるかたは「入札(見積)参加願」を管財課へ提出してください。

▽受付期間 2月1日(木)〜2月29日(木) ▽その他 指定用紙は、1月から管財課でお渡しします。平成7年度・8年度分の「入札(見積)参加願」を提出されたかたは、今回は提出の必要はありません。▽提出先・問い合わせ 管財課(☎1265)

結果後記

●広報担当になったときから、「締め切り」に追われる毎日、周りの町村の広報担当の顔さえも知らないという状況。これではいけないということで昨年の4月、上小地域の広報担当者が集まって「五報会」という会が結成された(毎月5日に情報交換をするようになったので五報会、誤報会ではありません)。その話の中で、こんなこともおもしろい：ということから始まったのが今回の「座談会」の企画掲載はそれぞれ独自の方法だが、企画と取材は全員で分担した。ポスターレスといわれる時代。広域的なものこそを考えると、これも大切なことと実感した。(たなか)

ゆずってください

- ▽電気毛布・シーツ
- ▽電子オーブン
- ▽中型冷蔵庫
- ▽バイク(原付)
- ▽自転車(折り畳み式)
- ▽二段ベッド
- ▽本棚
- ▽スキーウェア(150cm・女子用)
- ▽スケート靴(23cm)
- ▽スキー一式(1板120cm・靴18cm、2板150cm・靴23・5cm)
- ▽地球儀
- ▽キーボード
- ▽電気オルガン
- ▽エレクトーン
- ▽ベビーカー(A型)
- ▽室内遊具(子ども用)
- ▽ベビー布団
- ▽ベビーカー
- ▽ベビーカー

●1月1日号の編集もいよいよ大詰め。連日「原稿まだですか?」「もうちょっと」と、印刷所と相も変わらぬやり取りを交わしながら、やっと希望の光が見えてきたある夜。「いっけな、編集後記がまだだった!」慌てて取りかかると、コイツを考えるのも今年これで最後か、と思いつつ、さて、何を書こうか悩む。今年もいろいろあったなあと回想していると、ついウトウト。つかの間だが、いい夢を見たような気がした。平成8年、とにかく、心身ともにひとまわり大きく(もっとも、体はひとまわり太ってしまった)飛躍したいもの。皆さんもよい初夢を!(にしざわ)

主催/上田市文化芸術協会
文化会館

創りあげよう！郷土の文化

●問い合わせ/中央公民館 (☎20760)



第1回

文化を考える シンポジウム

1月20日(土)午後1時30分～午後4時
文化会館ホール **入場無料**

■玉村豊男さん プロフィール

たまむら とよお。1945年、東京生まれ。
パリ大学言語学研究所に留学後、1971年東京大学
仏文科を卒業。
通訳、翻訳業を経て、文筆業。エッセイスト。
1983年より8年間の軽井沢生活の後、1991年より
小県郡東部町在住。
東部町では執筆活動のかたわら絵を描き、またワ
イン用ブドウ、ハーブ、西洋野菜を栽培する農園
「ヴィラデスト」を営む。
主な著書は、「パリ 旅の雑学ノート」「料理の四面
体」「食の地平線」「アルマジロ私想録」「雑文王
玉村飯店」「グルメの食法」「パリ物語」「晴耕雨
読ときどきワイン」「有悠無憂(ゆとりあればうれ
いなし)」「快食 玉村大飯店」など。
最新刊は、「私のワイン畑」「田園の快楽」「種まく
人-ヴィラデスト物語」「エッセイスト」

基調講演

演題 「暮らしの中の文化」
～心の豊かさを創り出すために～

講師 玉村 豊男さん (エッセイスト)

パネルディスカッション

テーマ ー上田の文化ってなに！ー

コーディネーター

長島 伸一さん (長野大学教授)

パネリスト

玉村 豊男さん (エッセイスト)

益子 輝之さん (上田文化芸術協会参与)

竹下 悦男市長

海外姉妹都市 を推薦してください！

国際交流を推進するために、上田市海外友好提
携都市選定委員会で英語圏の中から姉妹都市の選
定を進めています。

姉妹都市の条件として…

- ①気候風土の類似性や歴史的なつながりや共通性
のあるところ
- ②青少年交流をはじめ市民の交流先として魅力あ
るところ
- ③地域の産業経済、教育文化などに共通性のある
ところ
- ④治安の良いところ、交通の便のよいところ…な
どが考えられます。

英語圏のうち、アメリカ、イギリス、オースト
ラリア、カナダおよびニュージーランドの5か国

の中で、上田市の姉妹都市としてふさわしい都市
がありましたら、推薦理由を添えてお知らせくだ
さい。

▽問い合わせ 秘書課 (☎1115・☎235111)



国際交流をより進めていきましょう

発行 386 長野県上田市大手1-11-16
編集 秘書課 4100 ☎1112 ☎235111
印刷 田辺印刷株